

育成すべき資質・能力の 三つの柱	大泉の自主・自律・創造	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
知識・技能 何を理解しているか 何ができるか	興味関心をもち、 課題を発見する力	書道に興味関心をもつことができない。	限られた書道の分野に興味関心をもつことができる。	書道に興味関心をもち、表現ができる。	幅広い書道の作品制作に興味関心をもち、意欲的に作品制作をすることができる。	幅広い書道の作品に興味関心をもち、様々な技法を用い制作に生かすことができる。
	自分の可能性を信じ、 やり抜く力	書道に関する自分の可能性を信じることが出来ず、取り組むことができない。	書道に関する自分の可能性を信じ、取り組むことができる。	書道に関する自分の可能性を信じ、前向きに練習することができる。	書道に関する自分の可能性を信じ、計画的に練習することができる。	書道に関する自分の可能性を信じ、計画的に練習し継続して努力し作品制作することができる。
	挑戦する力	全ての書道に関することに挑戦することができない。	一部の興味を持った項目について挑戦しようとすることができる。	与えられた課題について前向きに挑戦することができる。	書道について自らの課題を発見し、練習し、作品制作することができる。	書道について、自ら発見した複数の課題に対して、あきらめずに練習し、作品制作することができる。
思考力・判断力・表現力等 理解していること・できることを どう使うか	解決に向けて 論理的に思考する力	練習方法を自分で考えることができない。	練習方法を自分で考えることができる。	練習方法を計画的に考え、作品としてまとめる練習できる。	制作しようとする作風にあった、より良い練習方法を考え、作品としてまとめることができる。	自分が制作したい作品をイメージし、練習内容や方法を考え、より良い作品制作につなげることができる。
	自他の違いを認め、 思いやる力	自分の能力を正しく把握することができない	自分の能力を正しく把握することができる。	他者の能力を認め、尊重することができる。	他者に助言を求めたり、他者に助言をしたりすることができる。	自他の違いを認めつつ、共に良い作品制作ができるよう、良いところを取り入れ表現することができる。
	学びを実践に移す力	書の表現方法を他者に伝えることができない。	書の表現方法を他者に伝えることができる。	書の表現方法を他者に伝えて、理解してもらうことができる。	書道で培った知識や表現方法を、実生活や実社会で生かす方法を考えることができる。	書道で培った知識、表現方法を卒業後の実生活に生かし、共に楽しむことができる。
学びに向かう力・人間性等 どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか	自ら学びを継続する力	意欲的に練習することができない。	意欲的に練習することができる。	書道の作品制作に対し意欲的に活動し、その学びを継続することができる。	書道の作品制作や、書道の作品鑑賞に対して意欲的に学び、その学びを継続することができる。	書道の作品制作や作品鑑賞について意欲的に学び、向上心を持ち、達成感を感じながら勉強し続けることができる。
	多様な人々と協働する力	グループワークなどの練習に参加することができない。	グループワークなどの練習に参加することができる。	グループワークの練習に参加し、積極的に他者に関わろうとする。	多様な人々の作品を参考にし、自身の作品制作に取り入れることができる。	自己を含めた多様な人々の中心となり、互いの作品を認め、高めあうことができる。
	自己実現に向かう力	目標をもって書道の練習に取り組むことができない。	目標をもって書道の練習に取り組むことができる。	自ら目標を定めて、書道の練習に取り組むことができる。	自らの目標を達成するための練習方法を考え、より良い作品制作を目指して取り組むことができる。	他者からの助言を素直に聞き入れ、自分の練習方法を修正し、より良い作品制作を目指し取り組むことができる。